

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

「時間」の過ぎ方

平成26年になり、早2週間超、17日間が過ぎました。ついこの間、大掃除だなんだと新年を迎える準備をし、新年を迎えたばかりというのに、もう半月が過ぎてしまいました。本当に早いものです。(なんと今年も残りあと348日です！ (^^)ニコ 😊)

先日、新聞に『大人になると一年間が過ぎることが早く感じる』と言うことに関する記事が載っていました。皆さんもそのように感じることはありませんか？
確かに子どもの頃は、一日や一年をもっと長く感じていたように思います。

新しいことにチャレンジすること

一説によると、子どもから大人へと成長するにつれて、初めての経験や新しい経験が少なくなり、日々、日常業務的に過ごすようになると、その意識によって一日はさっさと過ぎていくように感じられるそうです。

逆に言えば、毎日新しいことをしたり、目新しいものに出会ったりすると、初めての経験をしたり、知らないことを知ったりすることで、一日の中のイベントが多くなりたくさんのことをした、充実した一日だったという意識で一日を長く感じることに結びつくと言うことのようにです。

また、別の見方では、「特に変わったこともなく何もしないままあっという間に一年が過ぎてしまった」という感覚と「たくさんの新しいことをして夢中になってしまったので、あっという間に一年が過ぎてしまった」という感覚のように、「同じように早く感じられる一年」であっても、まったく違う二つの感覚を持つこともあるようです。

何オになっても、自分を高めようとする向上心やいろいろなことに対する興味や関心を持ち、常にチャレンジャーとして「新しいことに挑戦したり、学んだり」して、「有意義だった、充実していた」と思える一年にしたいものですね。

普段の生活の中で、漫画を読む。釣りをする。スポーツをするなど、自分が好きなことや得意なことに熱中していると、あっという間に時間が経ちます。いやな事や苦手なことをしている時は、死にそうな気分になるくらい長～～～く感じる。そんな感覚を持つこともありますよね。

そもそも「時間」ということそのものが、私たち人間が作り出した概念なわけですが、その「時間」をいかに使っていくかは私たち自身の気持ち一つということでしょうか？

与えられた時間は同じです。早く短く感じる時も、ゆっくり長く感じる時も、自分にとって有効な使い方ができるといいですね。

今年度の卒業式、修了式まであとわずかしかないとお伝えしました。残された時間を子ども達はどのように使っていくのでしょうか。有意義かつ有効に使うのか、だらだらと無駄に使ってしまうのか。大人の指示や支援を待つのではなく、その使い道を自分自身で判断して使っていくことも「自立」の第一歩だと思います。

